

# 【高齢者のための】シリーズ

岩田健太郎医師・シリーズ総監修 超高齢社会における新たな臨床指南書。

世界一高齢化が進んだ日本で、なぜ老年医学（geriatrics）が一般化しないのか…？ 研修カリキュラムでも「小児科」は選ばれても、「老年科」は選ばれない。小児医学と成人医学の違いはあっても、成人医学と老年医学を峻別する議論は起こらない。こうした疑問に応えるために、本シリーズは生まれた。岩田健太郎医師監修のもと、「ここに問題あり！」のテーマを選び、エッジの効いた臨床解説に加え、本音トークの座談会も収載。最新刊『高齢者のための糖尿病診療』は、病院、診療所、在宅のエキスパートが血糖管理と生活指導の真髓を語る。第4弾は『高齢者のための高血圧診療』（予定）。



## 高齢者のための糖尿病診療

岩田健太郎 監修・著 岩岡秀明・栗林伸一・高瀬義昌 著

A5判・194頁 定価（本体 3,500円＋税） ISBN978-4-621-30367-2

2025年問題を控え、入院病棟から在宅・施設へ的高齢者ケアの流れはもう必須。高齢者の5人に1人は糖尿病（DM）の時代、もはやDMは専門医だけの領域ではなく、究極のプライマリケアとなった。ならば、若い頃からDMの特性と高齢者へのご作法をマスターしておくのも一案。「血糖コントロールや合併症」「フレイルや易感染性」「ポリファーマシーや認知症」などなど、糖尿病診療の課題を考える前にまずは、この一冊。

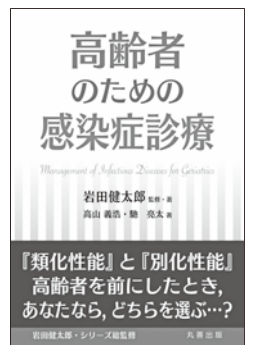


## 高齢者のための感染症診療

岩田健太郎 監修・著 高山義浩・馳亮太 著

A5判・180頁 定価（本体 4,000円＋税） ISBN978-4-621-30173-9

『類化性能』と『別化性能』、高齢者を前にしたとき、あなたなら、どちらを選ぶか。高齢者ならではの「Difference Point」（フレイル、免疫低下、水分量、腎機能など）を提示し、外来、在宅、施設等における感染症診療の「リアルパール」を解説。また、第4部「座談会」では、著者3名に集ってもらい、「2025年問題」や「HIV感染者の施設受入拒否」など、高齢社会を踏まえた本音トークが披瀝される。



## 高齢者のための漢方診療

岩田健太郎 監修 岩崎鋼・高山真 著

A5判・154頁 定価（本体 3,200円＋税） ISBN978-4-621-30186-9

超高齢社会に必須の処方箋、それが漢方、伝統医学である。しかし漢方診療の世界は混迷を深めており、それだけにわかりにくいといわれる。今、老年医学会のガイドラインで漢方の章を担当した著者2人が世に問う「超高齢社会に生かす伝統医学」。著者岩崎鋼医師は認知症のBPSDに対する抑肝散の効果を世界に先駆けて発表するなど、漢方の進歩発展に卓越した業績を残した漢方界きっての「EBMer」であり、既存の漢方医学にとらわれない主張の斬新さと、「中医学」に基づいた漢方診療の世界を貫く孤高の漢方医。

